

第21回  
サル疾病ワークショップ  
Primate Disease Workshop 2012

霊長類を用いた医科学研究のための  
全国共同利用施設

～連携と分担～

オーガナイザー  
三浦智行 (京都大学ウイルス研究所)

**霊**長類を用いた医科学研究には多大な設備と費用が必要である。このため大学や独立行政法人等の少数の研究機関において、全国共同利用施設として位置づけることで公的資金の支援を受けて、霊長類医科学研究のための設備が維持・運用されている。これらの限られた研究資源が有効に活用されるためには、それぞれの研究施設が定期的に情報を発信し合い、互いに連携と役割分担について考えることが重要であろう。今回のワークショップでは、霊長類を用いた医科学研究のための全国共同利用施設の運営担当者にそれぞれの施設の現状について紹介して頂き、今後の連携と役割分担について考える機会を提供したいと考えた。また、民間の霊長類研究施設や利用者の立場からも現状について紹介してもらい、全国共同利用施設が求められていることを理解するための参考にしてもらおうと思う。

開催日	2012年7月14日 (土)
時間	10:00～17:20 (9:00開場)
場所	麻布大学 8号館7F 百周年記念ホール (神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71)
参加費	3,000円 (受付にて申し受けます)
懇親会費	4,000円
参加申込	サル類の疾病と病理のための研究会 Website <a href="http://www.spdp.jp/">http://www.spdp.jp/</a> ★ワークショップならびに懇親会への参加には事前登録が必要です

【主催】 サル類の疾病と病理のための研究会

PROGRAM

座長 (午前) 中村 紳一郎

基調講演

霊長類の有効利用について  
千葉科学大学 副学長 吉川 泰弘 10:00～10:30

共同利用施設から

1. 京都大学ウイルス研究所霊長類感染実験施設における共同利用・共同研究について  
京都大学ウイルス研究所 感染症モデル研究センター 霊長類モデル研究領域  
三浦 智行 10:30～11:00

2. 共同利用・共同研究拠点としての京都大学霊長類研究所  
京都大学霊長類研究所 人類進化モデル研究センター 岡本 宗裕 11:00～11:30

3. 医薬基盤研究所霊長類医科学研究センターの共同利用施設の運営と取組  
医薬基盤研究所 霊長類医科学研究センター 保富 康宏 11:30～12:00

昼休み ポスター発表 研究会事務連絡 (年次集会) 12:00～14:30

座長 (午後) 三浦智行

4. 滋賀医科大学動物生命科学研究センター  
滋賀医科大学 動物生命科学研究センター 中村 紳一郎 14:30～15:00

5. 大学共同利用機関における共同研究について  
自然科学研究機構 生理学研究所 伊佐 正 15:00～15:30

民間施設から

6. 医療用レンタルラボの紹介  
株式会社NAS研究所 萩森 一郎 15:30～15:50

7. ハムリー株式会社感染試験施設について  
ハムリー株式会社 試験研究所 小松原 博文 15:50～16:10

休憩 16:10～16:20

利用者の立場から

8. ユーザーにやさしい共同利用施設のあり方  
京都大学霊長類研究所 統合脳システム分野 高田 昌彦 16:20～16:50

総合討論 16:50～17:20

懇親会 学内カフェテリア「レパスト」 17:30～19:30